

旭川市防災基本条例を制定しました

～平成27年4月1日施行～

旭川市防災基本条例制定の背景と目的

未曾有の被害をもたらした東日本大震災をはじめとして、想定をはるかに超える自然災害が各地で数多く発生しており、平成25年の災害対策基本法の一部改正では、「減災」を目的とする平素からの防災への取組の強化として「防災対策の基本理念の明確化」や「市や住民等の責務」などについて見直されました。

このことから、防災対策の基本理念を定め、市民、事業者及び自主防災組織等（以下「市民等」といいます。）並びに市の責務を明らかにするとともに、災害予防、応急対策及び復旧に関する基本的な事項を定めることにより、防災対策を総合的かつ計画的に推進し、市民等が安全で安心して暮らすことができる災害に強いまちの実現を図ることを目的とし、本条例を制定しました。

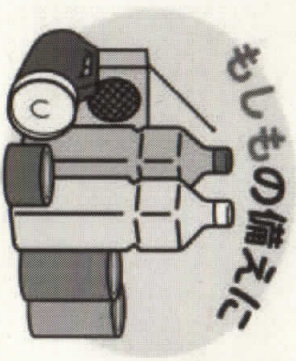
防災対策の基本理念

防災対策は、自助、共助、公助の理念を基本として、市民等と市がそれぞれその責務に応じ、連携を図りながら相互に協力することにより、着実に実施されなければならないとしています。

市民等と市の責務

○自助 ～ 市民や事業者が自らの安全を自らで守る。

- ・ 食料品や飲料水を目安として3日分備蓄しましょう。
- ・ 避難所や避難場所の位置などを確認しましょう。
- ・ 家具などの転倒防止をしましょう。
- ・ 初期消火、応急手当などを行えるようにしましょう。



○共助 ～ 市民等が地域においてお互いに助け合う。

- ・ 自主防災組織等による、地域における防災対策を進めましょう。
- ・ 地域において、防災訓練、防災研修を行いましょ。
- ・ 避難が必要な場合、避難に支援が必要な方への配慮や避難の呼びかけを行うなど、相互に助け合いましょ。



○公助 ～ 市や防災関係機関が実施する対策

- ・ 防災に関する計画の策定や体制の整備
- ・ 防災意識の高揚などの啓発活動
- ・ 災害に強いまちづくりの推進 など

旭川市防災基本条例につきましては、旭川市ホームページ

URL: <http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/kurashi/320/328001/382001/d053893.html> に掲載しています。

【担当】 旭川市東光27条8丁目総合防災センター3階 防災安全部 防災課

電話番号：0166-33-9969 FAX：0166-33-9936

災害用備蓄品の配置状況②(H29.8.7現在)

備蓄場所		アルファ化米(食)	離乳食(食)	野菜ジュース(本)	毛布(枚)	防災マット(枚)	寝袋(枚)	大型救急箱	大型浄水器 (2,000L/時)	簡易 トイレ(個)	排便 処理袋(箱)	トイレペーパー (ロール)	おむつ(大人) (枚)	おむつ(幼児) (枚)	女性用生理 用品(枚)	配置場所
中央地区	新町小学校	4条西3丁目	1,500	120	300	300	300	1				48				2階備蓄庫(アルファ化米・野菜ジュース・大型救急箱・トイレペーパー) 2階音楽室横小部屋(毛布・マット・寝袋)
	朝日小学校	5条通21丁目	1,500	120	300	300	300	1				48				2階家庭科教室(アルファ化米・毛布・野菜ジュース・トイレペーパー) 3階図工教室(マット・寝袋)
神楽地区	神楽中学校	神楽6条12丁目	1,500	120	300	300	300	1				48				3階物品庫
	緑新小学校	神楽岡4条5丁目	1,500	120	300	300	300	1				48				1階階段室(アルファ化米・野菜ジュース・大型救急箱・トイレペーパー) 1階体育館器具庫(毛布・マット・寝袋)
神居地区	神居東中学校	神居4条19丁目	3,000	120	500	500	500	2				48				3階災害用備蓄庫(アルファ化米・野菜ジュース・毛布・大型救急箱・トイレペーパー) 1階体育館ステージ上物置(毛布・寝袋)
	※台場小学校	神居町台場			20	25	20									1階体育館入口前器具室
	※忠和小学校	忠和4条4丁目			20	25	20									1階体育館ステージ上物置
	※神居小学校	神居4条6丁目			20	25	20									1階体育館ステージ下
北星地区	向陵小学校	住吉5条1丁目	1,500	120	300	300	300	2				48				2階運動物資庫(アルファ化米・野菜ジュース・毛布・マット・トイレペーパー) 3階教材室(毛布・寝袋)
	高台小学校	春光台4条4丁目	1,500	120	300	300	300					48				2階体育館ステージ下
	※近文小学校	緑町17丁目			20	25	20									1階体育館女子更衣室
	※北光小学校	旭町1条16丁目			20	25	20									1階遊戯所備蓄庫
新旭川地区	永山南中学校	永山町5丁目	1,500	120	300	300	300	1				48				1階災害用備蓄庫(アルファ化米・野菜ジュース・毛布・大型救急箱・トイレペーパー) 1階物置(毛布・マット・寝袋)
	新富小学校	新富2条2丁目	1,500	120	300	300	300	1				48				1階体育館ステージ下・器具室
東旭川地区	旭川第1小学校	東旭川町米原	50	60	50	50	50					24				1階体育館ステージ上物置
	旭川第5小学校	東旭川町東桜岡	50	60	50	50	50					24				1階暖房機械室
江丹別地区	江丹別小中学校	江丹別町中央	50	60	50	50	50					24				学校:1階体育館器具庫(寝袋30)、体育館横(毛布30・マット25) 支所:1階器具庫(アルファ化米・野菜ジュース・毛布20・マット25・寝袋20・トイレペーパー)
神居郊外地区	旧神居古潭小中学校	神居町神居古潭	50	60	50	50	50					24				1階家庭科教室
	セルプ豊里	神居町豊里	50	60	50	50	50					24				1階体育館器具室
	豊西会館	神居町豊里	50	60	20	25	20					24				2階和室
	旧雨粉中学校	神居町雨粉				220	470	1,280								
西神楽地区	西神楽小学校	西神楽北2条3丁目	50	60	50	50	50					24				1階体育館機械室(アルファ化米・野菜ジュース・トイレペーパー) 1階体育館ステージ上物置(毛布・マット・寝袋)
	千代ヶ岡小学校	西神楽3線25号	50	60	50	50	50					24				1階体育館ステージ下(アルファ化米・野菜ジュース・マット・寝袋・トイレペーパー) 1階体育館横(毛布)
	※旧聖和小学校	西神楽1線18号	50	60	50	50	50					24				1階体育館ステージ下
東鷹栖地区	東鷹栖支所	東鷹栖4条3丁目	100	120	100	100					48					1階浴室
防災センター	防災センター	東光27条8丁目	4,450	500	660	1,310	780		2	120	120	204	160	256	80	1階水防倉庫、2階物品庫
計			20,000	500	2,400	5,050	4,800	10	2	120	120	900	160	256	80	

H29年度
250枚納品予定

自主防災組織の結成率(平成29年4月1日現在のもの)

名称	結成率(世帯数)
1 中央・新旭川まちづくり推進協議会	52.18%
2 豊岡まちづくり推進協議会	89.74%
3 東光まちづくり推進協議会	52.37%
4 北星まちづくり推進協議会	80.89%
5 末広まちづくり推進協議会	81.44%
6 春光まちづくり推進協議会	74.02%
7 春光台・鷹の巣まちづくり推進協議会	25.80%
8 神居まちづくり推進協議会	70.12%
9 江丹別まちづくり推進協議会	結成なし
10 永山まちづくり推進協議会	58.25%
11 東旭川まちづくり推進協議会	36.38%
12 神楽まちづくり推進協議会	77.32%
13 緑が丘まちづくり推進協議会	19.37%
14 西神楽まちづくり推進協議会	結成なし
15 東鷹栖まちづくり推進協議会	結成なし
<p style="text-align: center;">全国 約82% 旭川市 約61%</p>	

永山地区

	結成年月日	防災井戸数	結成町内会数	結成町内会
新旭川第8地区	H15.1.28	6	5	秋月第一, 秋月旭進, 秋月旭永, 秋月東, 秋月中央
新旭川第9地区	H14.8.20	6	2	永山1区西第1, 永山1区西第3
新旭川第10地区	H15.7.8	4	1	永山陸橋第3
永山第1地区	H10.11.1	7	5	永門, 日の出, 5区第1, 6区中央, 七福
永山第2地区	H10.12.1	6	4	朝日, 寿, 神町, 神社通り
永山第3地区	H10.4.1	7	1	永山むつみ
永山第4地区	H10.9.1	7	2	永山3区第3, 永山3区第5
永山第5地区	H10.7.1	8	2	永山友愛, つくも
永山第6地区	H10.7.1	6	4	みずほ団地, 第2永山団地1号棟自治会, 第2永山団地2号棟自治会, 第2永山団地3号棟自治会
永山第7地区	H11.7.1	8	1	永山3区第2
永山第8地区	H13.1.1	7	2	永山3区第1, 永山3区第4
永山第9地区	H13.1.1	7	3	永山親和, 永山大雪, 永山寿
永山第10地区	H14.5.28	7	2	永山白雪, 永山1区東新栄
永山第11地区	H14.12.1	5	2	永山1区中央第2, 永山1区中央グランビュウ
永山第12地区	H16.8.25	5	1	永山1区中央第1
永山第13地区	H18.10.1	4	3	東栄, 東豊, 東教

100
防災井戸数

40
町内会数

1 避難所運営ゲーム(HUG)北海道版～D○はぐ～について

日本は世界有数の地震国であり、いつどこで地震が発生しても不思議ではありません。大きな地震が発生した場合、家屋の倒壊や津波、火災、山・がけ崩れなどにより、被災した多くの人々が避難所での生活を強いられることになります。

もしあなたが避難所の運営をしなければならぬ立場になったとき、最初の段階で殺到する人々や出来事にどう対応すればよいのでしょうか。

避難所運営ゲーム(HUG)は、避難所運営をみんなで考えるためのひとつのアプローチとして静岡県が開発したものです。避難者の年齢、性別やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対処していくかを模擬体験するゲームです。

そして、この避難所運営ゲーム(HUG)北海道版(愛称：D○はぐ)は、寒さや雪など冬季の課題などを盛り込むことで北海道に暮らす人々が避難所運営を自分事としてとらえ、自らの備えや地域の防災対策の課題を見つけやすくすることを目的に「ほっかいどう防災教育協働ネットワーク」の協働プロジェクトとして検討会を設立し、オリジナル版をベースとした内容の検討を行い、北海道が制作したものです。

プレイヤーは、このゲームを通して避難所に集まる多様な人々への配慮をしながら部屋割りを考え、仮設トイレの配置などの生活空間の確保、視察や取材対応といった出来事に対して、思いのままに意見を出し合ったり、話し合ったりしながらゲーム感覚で避難所の運営を模擬体験することができます。

HUGはH(hinanzyo 避難所)、U(unei 運営)、G(game ゲーム)の頭文字を取ったもので、英語で「抱きしめる」という意味です。静岡県が避難所運営ゲームを制作したときに避難者を優しく受け入れる避難所のイメージと重ねあわせて名付けられました。

そして避難所運営ゲーム(HUG)北海道版の愛称である「D○はぐ」は、北海道の「D○」と、HUG(はぐ)をやってみよう(英語のD○)という意味を込めて名付けられました。

それでは早速、避難所運営ゲーム(HUG)北海道版をやってみましょう！